コーンチェッキバルブ

取扱説明書

+GF+

GEORG FISCHER
PIPING SYSTEMS

コーンチェッキバルブを使用する前に、この取扱説明書を十分に読んで下さい。けがや損傷を未然に防ぐ重要な情報が載っています。

1 適正な使用

一旦施工されれば、GF製チェッキバルブは規定の圧力と温度限界の範囲で配管システムにおける流体の閉止か通水を行うように特に設計されています。最長寿命は25年です。

チェッキバルブは固形物を含む流体には適していません。チェッキバルブを選択する際には流体の密度よりコーンの密度（比重）が大きい事を確認して下さい。チェッキバルブが正しく作動するには、その横断面全体を流体が通過する満水状態でなければなりません。落ち着いている部分（ポンプの後方や方向転換）に取付ける必要があります。キャビテーションは避けて下さい。

2 他の適用文書

”ジョージフィッシャー・Planning Fundamentals”は、バルブを使用する際に重要なその他の情報を提供します。”Planning Fundamentals”（英文)は、ジョージフィッシャー社かwebサイト（www.piping.georgfischer.com）より入手可能です。あるいは、最寄りのジョージフィッシャー㈱営業所へお問合せ下さい。

3 安全性と責任

一般的な安全のしおり

適用される安全のしおりは、チェッキバルブが取付けられる配管システムに関してです。

ユーザーへの要望とオペレータの責任

・チェッキバルブは適正に使用されなければなりません。
・配管システムは適正に施工され、規則通りに検査されなければなりません。
・スタッフは、特に圧力配管における工業安全と環境保護に関する事項を規則通りに教育されなければなりません。
・関係者はこの取扱説明書に精通し、その内容を十分に理解しなければなりません。

取扱説明書の順守

取扱説明書は製品の一部であり、安全なシステムの重要で不可欠な要素です。
順守しない場合、大変な損害を起こす事があります。
・取扱説明書を読み、順守して下さい。
・常に取扱説明書をなるべく製品の近くに置いて下さい。
・取扱説明書は製品を使用するユーザーに順々に引き継いでいって下さい。

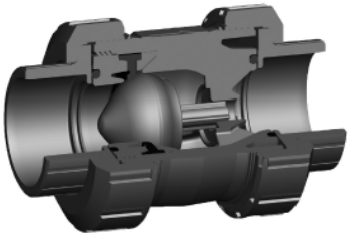
4 搬送と保管

・チェッキバルブは、丁寧に扱われ、搬送され、保管されなければなりません。
・オリジナルの梱包のまま、チェッキバルブは搬送され、保管されます。
・ほこり、汚れ、湿気、熱、紫外線のようなダメージを誘引するものから保護して下さい。
・メカニカルな影響やその他の要因で接続部がダメージを受けるのを避けて下さい。

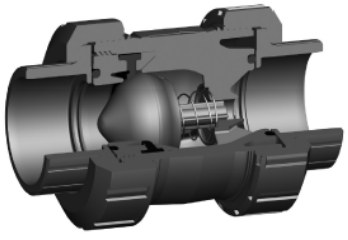
5 デザインと機能

5．1 型式

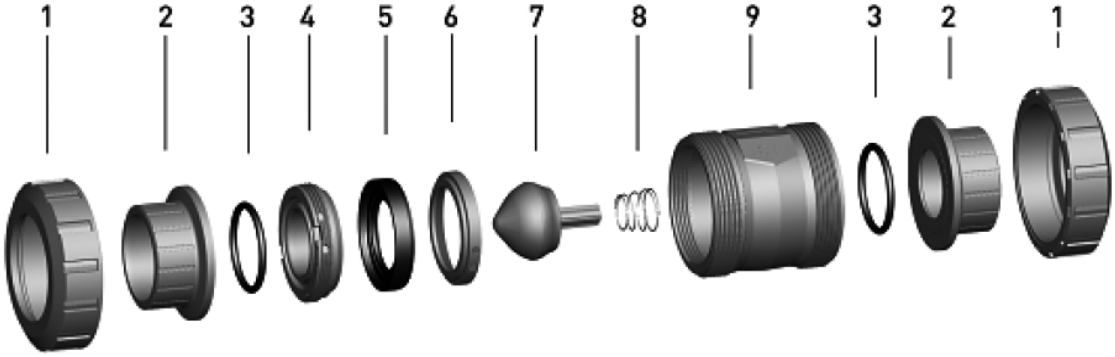
561型（スプリングなし）



562型（スプリング付）



5．2　デザインとスペアパーツリスト



1	バルブナット
2	バルブエンド
3	Oリング
4	ユニオンブッシュ
5	側面シールリング
6	バックアップリング
7	コーン
8	スプリング（562型）
9	ハウジング

スペアパーツの発注
最寄のジョージフィッシャー社営業所に、必要なスペアパーツの品番、製品名、数量を発注して下さい。

6　配管への取付

6．1　概略

チェッキバルブの配管への取付方法は、パイプ、継手、類似の配管部品の接続と同様に行います。詳細な情報は、最寄りのジョージフィッシャー㈱営業所へお問合せ下さい。

6．2　取付プロセス

取付前にチェッキバルブの以下のポイントを確認して下さい。
・バルブの搬送ダメージをチェックして下さい。損傷したバルブを取付けないで下さい。
・使用される使用圧力、接続方法、サイズ、材質にチェッキバルブが合致しているか確認して下さい。
・コーンが自由に動けるかどうかという機能テストを行って下さい。
・正常に作動しないバルブを取付ないで下さい。
・他の機能テストを行って下さい。

チェッキバルブ取付時の警告

警告
バルブハウジング上の矢印は、流れ方向を示しています。流れが垂直の場合、流れは上向きでなければなりません。矢印は上向きです。万が一、バルブが間違った方向に取付けられた場合、閉止（逆止）機能は保証出来ません。

警告
同一材料に限り、溶着や接着で接合出来ます。接着接合した配管部分は、接着終了後なるべく早く無圧の水で洗い流さなければなりません。チェッキバルブのバルブナットは手締めでねじ込みしなければなりません。

6．3　接合技術に関する情報

ユニオン形式

全材質

1. バルブナットを外し、必要な距離でパイプ端末上に置きます。
2. バルブエンドとパイプ端末を、接着orねじ込みor溶着します。（具体的な方法は最寄りのジョージフィッシャー㈱営業所へお問合せ下さい。）
3. バルブエンド間にチェッキバルブを置きます。
4. バルブナットを手締めで締め込みます。

接着接合

PVC-U, PVC-C, ABS

同一材質同士しか接合出来ません。接合部が硬化したら、なるべく早く無圧の水で配管接合部を洗い流します。

溶着接合

PP-H, PVDF

同一材質同士しか接合出来ません。

フランジ接合

全材質

ボルト締めトルクは、最寄りのジョージフィッシャー㈱営業所へお問合せ下さい。

7　試運転

チェッキバルブの圧力試験の方法はパイプと同様ですが、チェッキバルブの呼び圧（PN）を超えてはなりません。

試運転の手順

・全てのバルブが正しく開又は閉になっている事を確認します。

・配管システムを満水にし、完全にエア抜きをします。

・対象配管部分における最小呼び圧（PN）の製品に合せて最大試験圧力を決めます。

・圧力試験の間、全てのバルブと接合部における漏れなしを確認します。

8　メンテナンス

通常の環境下では、チェッキバルブのメンテナンスは不要です。

8．1　メンテナンス計画

メンテナンス間隔	メンテナンス内容
定期的	バルブの気密締付状況を確認します。
年に1～2回	バルブが常時開又は閉である場合、正しく作動するかチェックします。

使用条件が異なる場合（高温、磨耗作用のある流体等）、もっと頻繁なメンテナンスを推奨します。

9　不具合対応

不具合	推定原因	不具合対応
管内リーク	側面シールリング損傷	シールリングの交換
管内リーク	チェッキバルブの汚れ	汚れを取除き、チェッキバルブを綺麗にする
管内リーク	チェッキバルブの取付ミ	チェッキバルブの流れ方向に留意し、取付直す
管外リーク	側面ｼｰﾙﾘﾝｸﾞの押えが弱い	チェッキバルブのユニオンブッシュを締付ける
管外リーク	Oリングの押えが弱い	バルブナットを締付ける
管外リーク	Oリングの損傷か紛失	Oリングの交換
閉止部品の固着	材質が不適	適合材質に留意。"Georg Fischer Planning Fundamentals"（英語版）参照。
スプリング不調	スプリング腐食	耐薬品性に留意。"Georg Fischer Planning Fundamentals"（英語版）参照。

10 アクセサリー

アクセサリー	機能
スクリーン組立品	汚れ防止
546標準ハンドル	分解用工具
PP-H製コーン	軽い閉止部品

11 製造者宣言

製造者であるGeorg Fischer Rohrleitungssysteme AG, 8201 Schaffhausen（スイス）は、設計基準広報EN ISO 16137:2001に準拠して、チェッキバルブ561型と562型について以下の事を宣言します。
561型/562型は、

1. EU圧力機器指令 97/23 EUに合致する圧力機器であり、バルブに適用されるこの指令の要求を満たします。
2. 建造品指令 89/106/EUに提示されるバルブの適用要件を満たします。

継手上のCEマークは、この順守（圧力機器指令に準拠、バルブのDN25以上のみCEマークを保有）を示しています。
これらのチェッキバルブは、チャッキバルブが取付けられる全体のシステムが規定されたEU指令の1つに確認されるという通知を受取るまでは、就役出来ません。

注記
規定された技術仕様と機器の適切な使用に影響を与えるチェッキバルブの改造は、この製造者宣言を無効にします。追加情報は”Georg Fischer Planning Fundamentals”（英語版）に掲載されています。

技術データは掲載されていません。それらは、保証された特性や保証された特質や保証された耐久性を明確に構成するものではありません。それらは改造の対象です。弊社の販売の一般用語を適用します。

※取説記載の規格･仕様は製品改良のため予告なく変更することがあります。
※本書の著作権は、全て当社に帰属しますので無断複製はかたくお断りします。

ジョージフィッシャー株式会社

http://www.georgfischer.jp/

		電話	FAX
本社	大阪市浪速区難波中1丁目13番8号	〒556-0011 (06)6635-2708	(06)6635-2696
東京支店	東京都中央区東日本橋2丁目8番3号	〒103-0004 (03)3861-7741	(03)3861-7735
大阪営業所	大阪市浪速区難波中1丁目13番8号	〒556-0011 (06)6635-2691	(06)6635-2696
九州営業所	福岡市博多区博多駅前3丁目7番35号	〒812-0011 (092)432-3375	(092)432-5004
大阪ディストリビューションセンター	大阪府堺市美原区小寺418	〒587-0065 (072)363-1667	(072)363-1671

+GF+

GEORG FISCHER
PIPING SYSTEMS

M1102. '11.06. Ⅰ.